

概要版

第2期くまもと

「夢への架け橋」教育プラン

熊本県教育振興基本計画



©2010熊本県くまモン

平成26年3月
熊本県

基本理念

基本理念

郷土に誇りを持ち、夢の実現を目指す熊本の人づくり

- ・我が国や郷土の素晴らしい自然、伝統、文化を基盤として、子どもたちがこれからの激しく変化する社会の中で生き抜く力を身に付けることを目指します
- ・ライフステージを通して、「生きる力」、「命を大切にできる心」、「グローバル社会に対応する資質や能力」、「夢を持ち、自立し、困難な中にも活路を見いだそうと努める姿勢」をはぐくみます

目指す姿

- ① 家庭を中心として基本的な生活習慣や
自立心を身に付けた、たくましく心豊かな子ども
- ② 何よりも命を大切にできる心を持ち、
知・徳・体の調和がとれた子ども
- ③ 熊本の自然や伝統、文化を誇りに思い、
国際的な視野を持って、未来を切り拓く人
- ④ 生涯を通じて学び、社会に主体的に参画し、
夢の実現を目指す人

支える土台

家庭

「家庭」は教育の原点であり、出発点です。家庭は、子どもたちが成長するうえで最も多くの時間を過ごす場所であり、愛情による絆で結ばれた家族とのふれあいを通して生活習慣など生きるために必要な多くのことを学んでいきます。保護者が親として成長することも期待されています。

地域

「地域」においては、子どもたちがさまざまな体験や人とのふれあいを通して、ふるさとのよさを感じ、主体性や豊かな人間性、社会性を身に付けることが期待されます。

また、地域の方による学習活動や体験活動など、学校に対する協力や支援も求められています。

学校

「学校」は、確かな学力や豊かな心、健やかな体など「生きる力」を身に付ける場です。また、地域に開かれた学校づくりを進める必要があります。

教育の質は教職員の力量に負うところが大きく、「教える力」ばかりでなく子どもの意欲や能力を「引き出す力」が求められます。

家庭・地域・学校が互いに連携・協力して、子どもの育ちを支えます

第2期くまもと「夢への架け橋」教育プランでは、
“郷土に誇りを持ち、夢の実現を目指す熊本の人づくり”を基本理念
 に掲げ、子どもたちの「夢を叶える教育」を推進します。

「熊本の人づくり」の
 4つのキーワード

家庭での
 教育

命を大切
 にする心

郷土に
 誇り

夢の実現

熊本の自然・伝統・文化を基盤

夢をはぐくむ、広げる、支える
 11のミッション

家庭教育
 の支援

いじめのない
 学校づくり

「熊本の心」
 の活用

障がいのある
 子どもの学び

貧困の連鎖を
 教育で断つ

英語教育
 の充実

海外へ
 チャレンジ

進学や就職の
 夢の実現

スーパー
 ティーチャー

地域に
 開かれた学校

教育の情報化

11の基本的方向性
 32の取組、35の指標

★ライフステージ毎の取組・滑らかな接続



★家庭・地域・学校の連携・協力



計画の性格

- 教育基本法第17条第2項に基づき策定する、熊本県の教育振興基本計画です。
- 県教育委員会、知事部局、警察本部で所管する教育、子育て、文化、スポーツ等の施策を対象とします。
- くまもと「夢への架け橋」教育プラン(計画期間:H21年度~25年度)の後継計画です。
- 計画期間は、平成26年度から平成30年度までの5年間とします。

(お問い合わせ先) 熊本県教育庁教育政策課

〒862-8609 (教育庁専用郵便番号)

熊本県熊本市中央区水前寺6丁目18番1号

TEL: 096-333-2673 FAX: 096-384-1509

ホームページ 熊本県 <http://www.pref.kumamoto.jp/>

熊本県教育委員会 <http://kyouiku.higo.ed.jp/>

発行者: 熊本県教育委員会
 所属: 教育政策課
 発行年度: 平成25年度

取組の基本的方向性

幼
児
期

① 家庭や地域の絆の中で、「生きる力」の基礎をはぐくむ

家庭を基盤として、地域社会や幼稚園・保育所等、事業所など社会全体が各々に期待される役割を果たし、子どもたちがたくましく、心豊かに育つ環境づくりを推進します。



② 自他の命を大切にする心や、人権を尊重する態度をはぐくむ

子どもたちが命の大切さを理解し、自分や他人を大切に思い、すべての命を大切にする心や人権を尊重する態度をはぐくみます。また、いじめの未然防止、早期発見・解消に取り組みます。



③ 確かな学力、豊かな心、健やかな体など「生きる力」をはぐくむ

子どもたちが、将来の希望する道を進むために必要な「生きる力」を自ら身に付けることのできるよう、学校・家庭・地域が連携して子どもの成長を応援します。

④ 障がいのある幼児児童生徒一人一人の教育的ニーズに応える

障がいの有無に関わらず共に学ぶインクルーシブ教育システムの構築を目指し、基礎的な環境整備の充実や一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実を図ります。



⑤ ふるさとを愛する心、国際的な視野、夢を叶える力をはぐくむ

子どもたちが、我が国や郷土の伝統、文化を理解し、愛着や誇りを持つとともに、自ら将来の夢を描き、その目標に向かって進学（留学）や就職の夢を実現できるよう、国際的な視野と夢を叶える力をはぐくみます。

⑥ 信頼される学校をつくる

「認め、ほめ、励まし、伸ばす」を指針とする「くまもとの教職員像」を教職員の目指す姿として、人材確保や人材育成に努めるとともに、児童生徒と向き合う環境づくり、開かれた学校づくりを進めます。



⑦ 安全で、誰もが安心して学ぶことのできる環境をつくる

誰もが等しく教育の機会が確保され、安全・安心に学ぶことができ、また、情報化の進展、少子化に伴う学校の小規模化など社会の情勢の変化を踏まえた、より良い教育環境を整備します。

⑧ 高等教育を振興する

高等教育機関の有する機能を最大限活用し、産学行政連携の推進やグローバル人材の育成への貢献などを念頭に、高等教育の振興を図ります。

⑨ 生涯学習を推進する

個人の要望や社会の要請に応える学習の機会が提供され、学習した成果を生かす機会が提供される、生涯学習社会の実現に向けた取組を推進します。



⑩ 熊本の文化を守り、磨き上げる

県民が身近な「熊本の宝」に触れ、ふるさとの自然や伝統、文化に対する理解を深め、誇りや愛着を持ち、後世に守り伝えていくよう、さらに熊本の文化に磨きをかけます。

⑪ スポーツに親しむ環境をつくる

すべての県民がスポーツに親しみ、その楽しさや感動を分かち合いながら、健康で活力ある生活を送ることのできるよう、スポーツに親しむ環境づくりを推進します。



青
少
年
期

成
年
期

項
目
別

夢を叶えるミッション(重点取組)

～熊本の子どもたちの **夢** を叶える教育を推進します～

「夢」をはぐくむ 【幼児期～学校期】

家庭教育支援にしっかり取り組みます

【目標】「くまもと家庭教育支援条例」の認知率の向上

いじめのない学校をつくります

【目標】学校は楽しいと感じる児童生徒の割合の向上

「熊本の心」を活用して豊かな心をはぐくみます

【目標】「熊本の心」を活用した道徳の時間を地域や保護者に公開した学校の割合の向上

障がいのある子どもの学びを支えます

【目標】発達障がいの生徒（高等学校）についての個別の教育支援計画作成率の向上

英語を話せる子どもを増やします

【目標】英語が「好き」「分かる」生徒の割合の向上

貧困の連鎖を教育で断ち切ります

【目標】生活保護世帯の高等学校進学率の向上



「夢」を拡げる 【主に高等学校～】

海外にチャレンジする若者を増やします

【目標】海外高校への留学者数の増加

進学や就職の夢を叶えます

【目標】大学等進学率及び県立高等学校における大学等進学希望者の進学率の向上



「夢」を支える 【教育環境の整備】

スーパーティーチャーをつくります

【目標】スーパーティーチャー(指導教諭)の導入

地域に開かれた学校をつくります

【目標】コミュニティ・スクールの増加、学校を支援するボランティアの増加

学力向上につながる教育の情報化を推進します

【目標】ICTを活用して指導できる教員の割合の向上



数 値 目 標

指標名	現状値 (H24)	目標値 (H30)
1 「くまもと家庭教育支援条例」の認知率	21.5% (H25)	60%
2 夜10時前までに就寝する子どもの割合	73.6%	77%
3 学習機会や情報の提供等の親の学びを支援した幼稚園・保育所等の割合	93.6% (※参考 幼稚園のみ)	100%
4 学校は楽しいと感じる児童生徒の割合 (熊本県公立学校「心のアンケート」調査結果)	小学校 92.8% 中学校 89.1% 高等学校 88.1% 特別支援学校 94.2%	向上
5 不登校児童生徒の割合 (児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査結果)	小学校 0.18% 中学校 2.09% 高等学校 1.89%	減少
6 10代の人工妊娠中絶実施率	0.98%	減少
7 全国学力・学習状況調査の平均正答率	5/8項目で上回る (H25)	すべて全国平均を上回る
8 教科の学習が「好き」「分かる」児童の割合 (小学校3年生)	好き 75.9% 分かる 82.4%	向上
9 大学等進学率	43.6%	47%
10 県立高等学校における大学等進学希望者の進学率	80.6%	83%
11 「熊本の心」を活用した道徳の時間を地域や保護者に公開した学校の割合	小学校 90% 中学校 82%	100% 100%
12 1か月に1冊以上読書する児童生徒の割合	86.8%	90%
13 新体力テストにおける体力合計点の平均値	45.81 点	46 点
14 毎日朝食を摂る児童生徒の割合	86.6%	95%
15 高等学校において、学校が把握する発達障がいの診断を受けている生徒についての個別の教育支援計画作成率	23.9%	60%
16 熊本市及びその周辺部の特別支援学校において不足する教室数	106 教室不足 (H25)	89 教室不足
17 インターンシップを体験した高校生 (全日制) の割合	59.5%	70%
18 英語が「好き」「分かる」生徒の割合	好き 48.4% 分かる 47.5%	向上
19 海外高校への留学者数	19 人	100 人 (H24~H27の累計)
20 学校改革に取り組んだ学校の割合	—	100%
21 コミュニティ・スクールの数	24 校	60 校
22 学校を支援するボランティアの数	61,051 人	76,000 人
23 スーパーティーチャー (指導教諭) の導入	—	導入
24 生活保護世帯の高等学校進学率	94.6%	98.9%
25 県立学校の耐震化率	93.1%	100%
26 市町村立学校の耐震化率 (参考)	94.4%	100%
27 私立学校の耐震化率	62.5% (H25.4.1)	75% (H28.4.1)
28 ICTを活用して指導できる教員の割合	69.7%	100%
29 県と高等教育機関の連携した取組数	49 件	着実な増加
30 くまもと県民カレッジ連携機関数	59 機関	200 機関
31 県立図書館利用者数	328,653 人	330,000 人
32 青少年教育施設利用者数	159,334 人	166,000 人
33 細川コレクション永青文庫常設展示室入室入場者数	42,638 人	45,000 人
34 文化財を活用した学習活動への参加者数	3,130 人	5,000 人
35 スポーツ実施率 (週1回30分以上運動する割合)	58.5%	65%